

伊勢市統計レポート



伊勢市の製造業について

伊勢市の産業のなかで、製造業が全体に占める割合は、平成26年経済センサス - 基礎調査によると、事業所数で8.3%、従業者数で17.2%、民営事業所の売上金額で42.2%となっています。製造業については、基幹統計調査である工業統計調査と経済センサス - 活動調査で、原則として毎年調査しています。今回の統計レポートでは、学生の質問に市職員が答える対話形式で、伊勢市の製造業の特徴についてみていきます。

製造業とは？

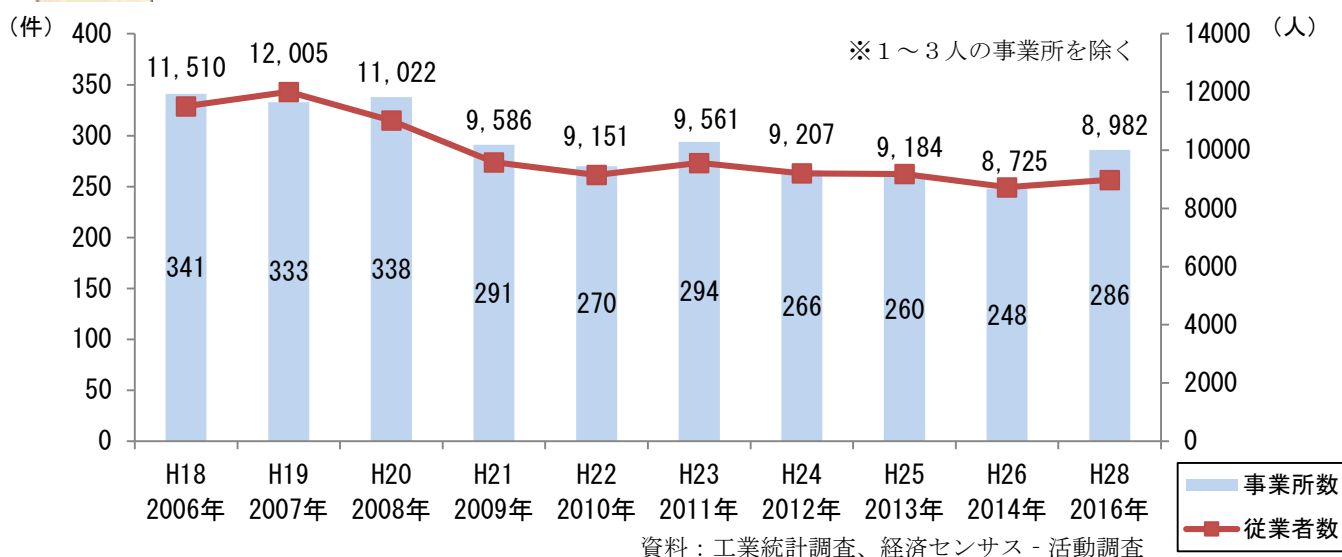
原材料などを加工して新たな製品を生産し、その製品を提供する産業のことです。製造業に分類される業種は、食料品製造業、鉄骨や金具等を製造する金属製品製造業、自動車部品等を製造する輸送用機械器具製造業などがあります。

伊勢市の製造業事業所数及び従業者数の推移

学校の課題で、伊勢市の製造業の特徴について調べています。いろいろ教えてください。



わかりました。では、伊勢市の製造業の事業所数と、従業者数の推移についてみてみましょう。



事業所数も従業員数もずいぶん減っているんだなあ。



そうですね。平成18年と平成28年を比べてみると、**事業所数は50件以上、従業員数は2,500人以上が減少**しています。



伊勢市の製造業事業所の割合

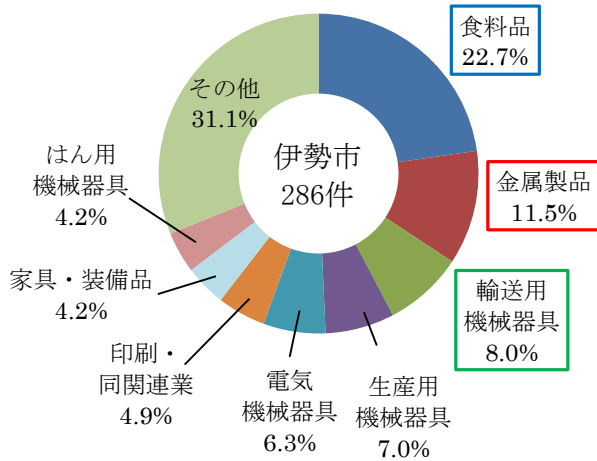
伊勢市にはどんな製造業が多いんですか？



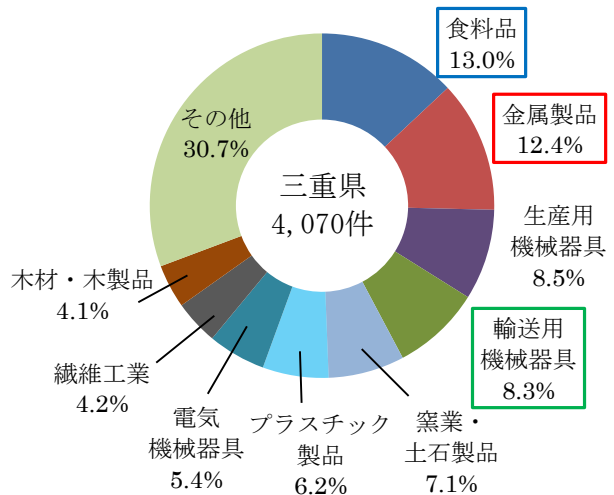
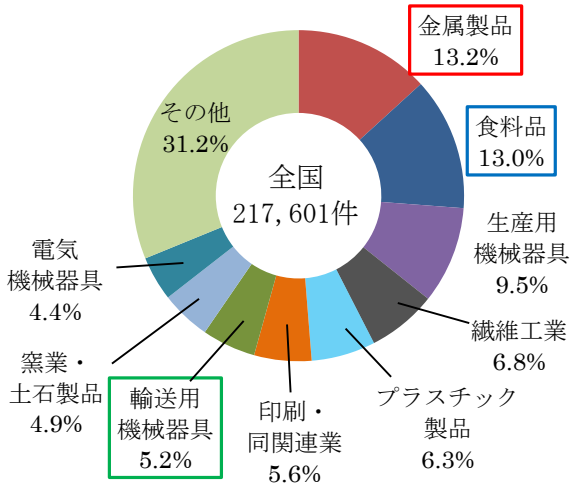
では、平成 28 年経済センサス - 活動調査の結果をもとに、製造業の状況についてみていきましょう。比較のために、全国及び三重県の製造業についても取り上げます。まず、製造業の事業所数をみてみましょう。

伊勢市・全国・三重県の製造業事業所数

※ 1～3 人の事業所を除く



この3つの円グラフは、伊勢市、全国、三重県における製造業について、産業中分類（※）別に、それぞれの事業所数が全体に占める割合を表しています。



事業所数をみると、伊勢市は「食料品」が最も多くて、次いで「金属製品」、
「輸送用機械器具」の順に多くなっているんですね。

（※）産業中分類：日本の公的統計において使用される産業分類（日本標準産業分類）。日本標準産業分類は大分類、中分類、小分類に分かれている。

はい。全国や三重県でも、「食料品」「金属製品」が高い割合を占めていますね。では、3つのグラフをよーく見て、気づくところはありませんか？



あっ、伊勢市の「食料品」の割合がずいぶん高いですね。



本当だ。「食料品」は全体の22.7%だから・・・伊勢市では製造業の事業所のうち、5件に1件は「食料品」の事業所だということになるね。



では、ここで、伊勢市の製造業事業所のうち「食料品」の占める割合と、全国や三重県の製造業事業所のうち「食料品」の占める割合を比べてみましょう。すると、伊勢市は全国や三重県よりも、全体に占める割合が高いことがわかります。同じように「金属製品」の割合を比べた場合は、全国や三重県と大きな差はありませんね。



こうして全国や三重県と比べてみると、伊勢市の製造業の特徴がわかりますね。



そうだね。「食料品」の事業所が多いということが、伊勢市の製造業の特徴だといえるんじゃないかな。



はい。事業所数をみたとき、伊勢市の製造業のうち「食料品」の占める割合は、全国や三重県に比べても特に高いといえます。製造業事業所のうち5件に1件は「食料品」を製造していると覚えてください。



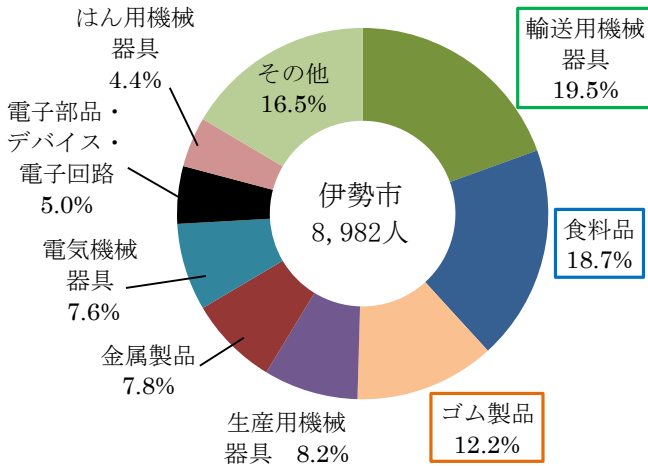
伊勢市の製造業従業者の割合



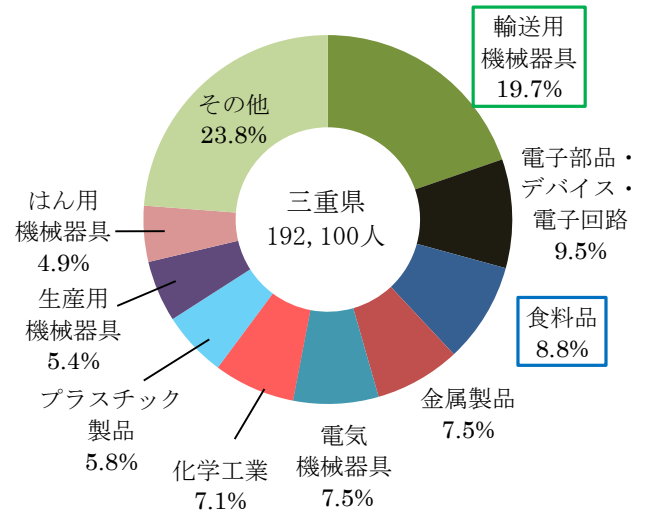
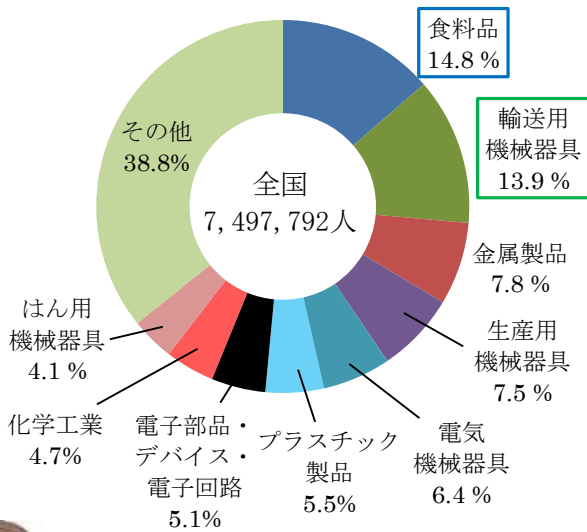
続いて、製造業の従業者数をみてみましょう。

伊勢市・全国・三重県の製造業従業者数

※1～3人の事業所を除く



この3つの円グラフは、伊勢市、全国、三重県における製造業について、産業中分類別に、それぞれの従業者数が全体に占める割合を表しています。



従業者数をみると、伊勢市の製造業では「輸送用機械器具」が最も多く、次いで「食料品」、「ゴム製品」が多くなっていますね。

あれっ？ 2ページで、伊勢市、全国、三重県の製造業事業所数をみたときは、「金属製品」が第1位か第2位だったのに、従業者数をみると「輸送用機械器具」が第1位か第2位になっている。



そうですね。業種によって1つの事業所で働いている従業者数に違いがあるので、順位が変わるんです。

伊勢市の製造業で、事業所数では上位に出てこなかった「ゴム製品」が第3位になっているのも、1つの事業所で働いている従業者数が多いからだといえそうですね。



そうですね。伊勢市、全国、三重県で上位を占める「輸送用機械器具」や、三重県の製造業の第2位である「電子部品・デバイス・電子回路」についても、1つの事業所で働いている従業者数が多いと考えられます。

伊勢市の「輸送用機械器具」は19.5%だから・・・伊勢市の製造業で働く人のうち、5人に1人は「輸送用機械器具」の従業者ということだね！



ちょっと待って。伊勢市の「食料品」は、「輸送用機械器具」と同じぐらいの割合を占めているわ。伊勢市の製造業で働く人のうち、「食料品」の従業者も、5人に1人いるっていけないかしら？

じゃあ、ええと、ここでいえることは・・・。



はい。伊勢市の製造業で、従業者数が最も多いのは、「輸送用機械器具」です。そして、製造業で働く人のうち5人に1人は「輸送用機械器具」で働いていて、もう1人は「食料品」で働いていることになります。

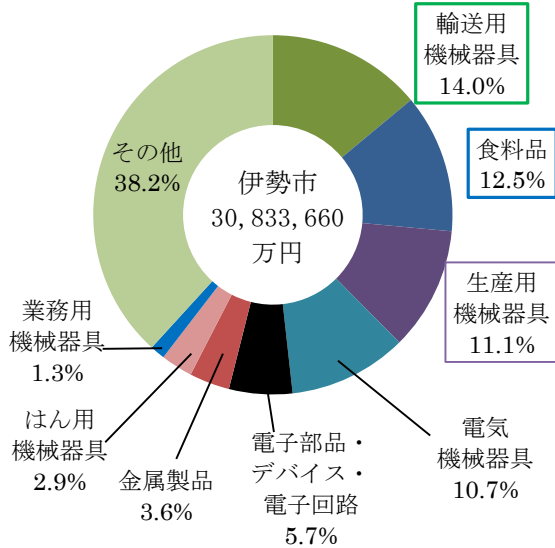
伊勢市の製造品出荷額等の割合



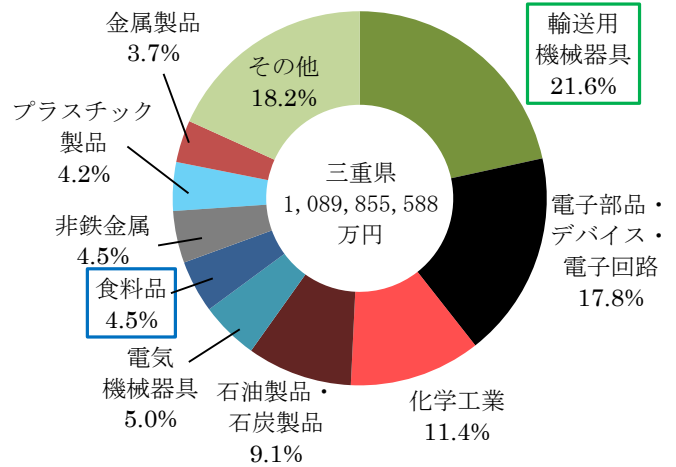
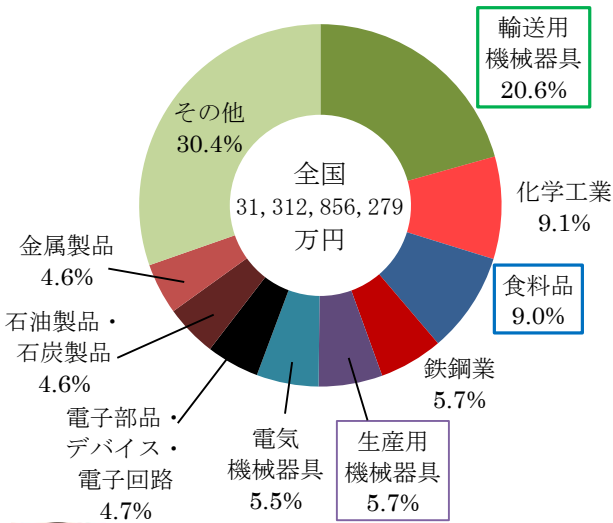
最後に、製造業の製造品出荷額等（※）をみてみましょう。

伊勢市・全国・三重県の製造品出荷額等

※1～3人の事業所を除く



この3つの円グラフは、伊勢市、全国、三重県における製造業について、産業中分類別に、それぞれの製造品出荷額等（※）が全体に占める割合を表しています。



製造品出荷額等をみると、伊勢市の製造業では「輸送用機械器具」が最も高く、次いで「食料品」、「生産用機械器具」の順に高くなっていますね。

4ページで、従業者数をみたときも、伊勢市では「輸送用機械器具」が第1位だった。ここでも「輸送用機械器具」は第1位なんだね。



伊勢市の「輸送用機械器具」は、従業者数が多く、製造品出荷額等も高いといえるわね。

※製造品出荷額等：1年間における製造品出荷額、加工賃収入額、その他収入額等を合計した額。

「輸送用機械器具」は全国でも三重県でも第1位だけど、「食料品」は全国や三重県では10%以下と、製造品出荷額等に占める割合はあまり高くないんだね。



でも、伊勢市の場合は、「輸送用機械器具」と「食料品」は同じくらいの割合になっているわね。



伊勢市の製造業では、事業所数や従業者数のときも、「輸送用機械器具」と「食料品」が上位を占めていたけど、この2つの製造業は、製造品出荷額等でも上位に出てきているね。



そうですね。「輸送用機械器具」と「食料品」を合わせると26.5%となるので、「輸送用機械器具」と「食料品」が製造品出荷額等の4分の1を占めていることになります。



事業所数と従業者数、製造品出荷額等・・・これらの3つの項目をみて、伊勢市の製造業の特徴について、いろいろ知ることができました。



はい。今回は、「高い割合を占めている製造業は何か？」という視点から統計データをみてきましたが、うまく特徴を見つけることができましたね。



今回調べなかった他の項目からも、新しい特徴を見つけられそうですね。



いいですね。新たな項目を調べたり、異なる項目同士を組み合わせたりして、統計データをいろいろな視点でみていくと、もっと詳細な分析ができますよ。



わかりました。
いろいろ教えていただいて、ありがとうございました。

